



にこにこ



今年も残すところ一ヶ月。多摩センターのイルミネーションもクリスマス一色で、一段と華やかに色づいていますね☆彡本格的な冬を迎えますが、冷たい北風に負けず元気に過ごしていきたいと思います。今年もありがとうございました!



0歳児はまだ自分から着脱する事は難しいので、大人が中心となって着替えをしています。着替えの際には、「お着替えしようね」「気持ちよくなつたね」等の声掛けで、心地よい時間になるように努めています。また「お袖を抜くよ」「ズボンを履くよ」など、一つ一つの動作に言葉を添えることで、子どもも着替えの様子を理解しやすくなります。自分で着脱することは難しいですが、簡単な動作から少しずつ手伝うことで、「自分で出来た!」という喜びを感じられるよう支援をしています。そして、少しでも出来たら沢山褒めています!

1歳児は「自分でやりたい!」という気持ちが芽生える時期です。大人が「靴下を履こうね」と声掛けをすると、足を上げるなど着脱に興味を示すようになってくるので、温かく見守り、さりげなく手伝うようにしています。「ズボンを上げてみよう」「よいしょ、よいしょ」など、動きがイメージしやすい声掛けをすることで、子どもが着脱に参加しやすくなります。また、「靴下上手に脱げたね!」など、できたことを具体的に褒めることで、子どもの意欲を高めることができます。「自分で出来た!」という達成感、褒められた事の喜びが「次もやってみよう!」という意欲に繋がります。

その自信、成長は着脱だけではなく、日々の生活の様々な場面でチャレンジする「チカラ」となります。



着脱を自分でできることは、基本的生活習慣(身辺自立)への形成の一つです。発達にも重要な役割があり、子どもたちは手先をたくさん使うことで身体を思い通りに動かすことを学んでいきます。

衣類の着脱の習慣は日々の積み重ねで培われます。大人が全て行うことは簡単ですが、園では「自分でやりたい!」という気持ちを大切にしています。そして、最後まで自分で出来た!という達成感を味わえるよう見守り、支援しています。おうちでもお時間がある時にお子さんの着脱を見守り、頑張っている姿をたくさん褒めてあげてください!また、脱ぎ着しやすい洋服、靴のご用意をお願い致します。



定期、一時保育のご利用は12月26日(金)までです。今年も沢山のご協力をいただきありがとうございました!
年始は、1月5日(月)からの利用開始となります。来年もどうぞよろしくお願ひいたします♪